



宮崎 匠 議員

更なる規制強化を踏まえたホテル等の建設に関する条例の厳格化について

質 現在、本村においてホテルの建設ラッシュにより、自然破壊や交通負荷、地価の上昇等も含めた住環境悪化が指摘されている現状があります。実際に村民からも「もう恩納村にリゾートホテルは必要ない。これ以上、ホテルの建設は観光振興と地域のバランスが崩れることになる」という声があります。今後、無秩序な開発を抑制する明確な方針を条例や要綱等において示す必要があると考えられます。宿泊施設の過剰供給が続けば、将来的にこれまでの地域経済の不安定化や地域コミュニティの崩壊など、多くの由々しき事態を招く懸念があります。村として、適正規模の観光受入れ

人数を設定し、開発上限を定める方針を今後検討しているのかについて伺う。

答 企画課長(喜久山隆)

都市計画区域外である本村においても1万平方メートルを超える開発については、都市計画法に準じ、沖縄県の開発許可を得る必要があります。許認可事務の権限が沖縄県にあることから、開発上限をどのような根拠で設定するか等、多くの課題があると考えており、現時点では検討していません。

質 今後、県の開発許可を得ている宿泊室数が3,000室あります。この開発は止められないので、進めることしかできないと思いますが、そうなった場合、この宿泊施設ができた際に、村民の生活に支障を来さないのかというのが個人的な考えではあります。国内有数のリゾート地において、行き過ぎた観光振興により、危機感を抱いて、上位関係にある都道府県へ要望を出しているケースもあります。本村においても1万平方メートル以上の開発は上位法である県の開発許可を得られれば、実質開発できるようになっています。そこで本村においても「これ以上、恩納村においてリゾートホテルは必要ない」という姿勢を明確に県へ訴えていく、示していくことが必要

であると考えますが、村長の見解を伺う。

答 村長(長浜善巳)

ホテル建設に関しては、村民、事業所もいろんな考え方があると思います。規制強化については議会、村民、また各団体も含めて合意形成を図り、本村で拘束力のある規制、あるいは先ほど議員が言ったことが実現できるのか、これは今後、全庁的に我々も取り組んでいきたいと考えています。

提 今後の村の方針を明確に定めていくため、各関係団体とまずしっかりと意見交換を重ね、誰のための観光振興なのかを立ち止まって振り返ってみて考える。やはり第一は村民のためだと思いますので、村民が住み続けられる、そして住みたいと思えるような観光振興を進めていただきたい。

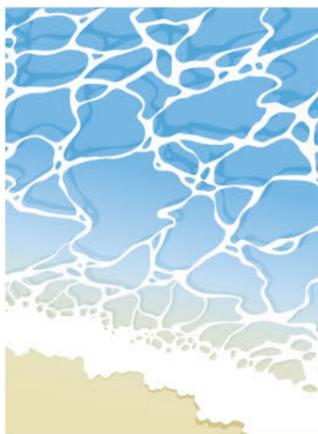
万座毛周辺活性化施設における観覧料の増額について

質 万座毛周辺活性化施設の規模、景観価値、サービス内容に対して、現行の観覧料100円では県内の類似観光地と比較しても著しく低く、適正な受益者負担の観点から見直しが求められています。近年の物価高により維持管理費や安全

対策費が増加しており、修繕費や日常的な管理コストが財政的に大きな負担となっています。この現状も踏まえ、観覧料の増額を村の未来への投資として位置づけ、「料金体系の多様化」「サービスの向上」「収益の透明化」「地域還元」「環境保全強化」の5本柱で取り組むべきであると考えます。村として、今後これらの提案を総合的に検討する場の設置について村長の見解を伺う。

答 村長(長浜善巳)

観覧料の見直しについては、単なる値上げではなく、将来に向けた投資として捉える考え方は、村としても十分理解するものです。議員から御提示いただいた5つの柱は、万座毛の価値を高める上で参考となる視点であり、いずれも持続可能な観光地づくりには不可欠な要素であると考えています。指定管理者との連携を強化し、必要な支援や環境整備にしっかりと取り組んでいきます。



フリースクールについて

質 憲法に「義務教育は無償とする」。また国際人権法、世界人権宣言で「教育は、基礎的な段階において無償でなければならない」とある。フリースクールの学費等の援助の検討を考えてもらえないか伺う。

答 学校教育課長(親泊誠)

公立学校へ通学する児童生徒の教材費について、一部支援を検討しています。昼食費と併せて、フリースクール等に通う不登校児童生徒への支援の在り方について検討します。

農業振興基本計画の進捗について

質 農業振興基本計画のメンバーと完成の期日は決まっているか。

答 農林水産課長(平安名盛常)

メンバーの構成は、専門分野から8名、住民代表2名、学識経験者、村農業経営アドバイザー及び地域農業者の2名、事業者代表2名、合計14名で構成を予定しています。策定委員会は年2回の開催を予定しており、策定期日は3月中を予定しています。

答 建設課長(當山国博)

現地確認を踏まえ、実効性のある安全対策の検討をしていきます。関係課と連携し、安全確保に向けた対応を進めます。

質 総合保健福祉センター内や、周辺の中央線や停止線が消えている危険な箇所があります。対策が必要と思うが考えを伺う。

答 福祉課長(石川司)

村道認定も視野に入れて、関係課と調整し、仮の白線の標示改修を実施していく方向で協議しています。

質 認定子ども園の開園後、農道を含めどのような対策を考えているか伺う。

答 福祉課長(石川司)

周辺施設利用者への交通安全指導を含め、同センター周辺の安全確保に努めたいと考えています。

答 農林水産課長(平安名盛常)

年度内に園周辺の大型側溝にふたの設置、沈砂池進入防止柵の補修及び看板設置を進めます。

さくらねい(TNR)活動について

質 通学路の標示等、車への注意喚起が必要と考えます。考えを伺う。



安里 周作 議員

認定子ども園開園に伴う総合保健福祉センター周辺の安全対策について

質 総合保健福祉センターの歩道改修の進捗と、出口の道路の危険除去対策を伺う。

答 建設課長(當山国博)

歩道は、所有者と交渉がまとまり次第、歩道改修工事に着手する予定です。出入り口に関する危険性は、道路の構造上や周辺地形の影響で大幅な改修ができない状況です。注意喚起の看板や道路標示設置が可能なかなどを検討します。

提 国道事務所との相談も必要かと思えます。連絡を取って対応していただければと思います。

質 通学路の標示等、車への注意喚起が必要と考えます。考えを伺う。